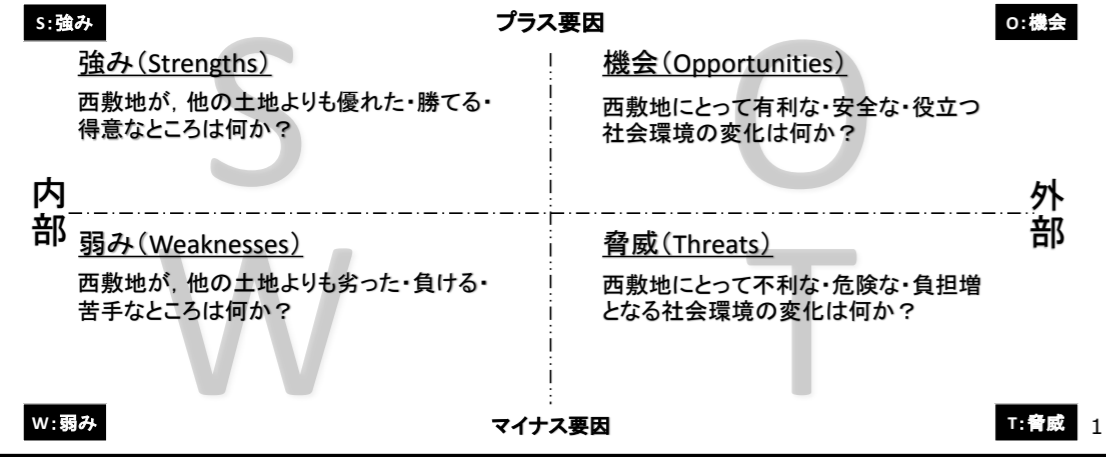


西敷地の検討フロー

1. SWOT分析

SWOT分析とは、内部資源を「強み」と「弱み」に、外部状況を「機会」と「脅威」に整理する環境分析手法。本委員会では、西敷地の現状(内部資源)と、西敷地を取り巻く環境が与える影響(外部状況)とを分析しながら、西敷地にふさわしい機能を発見する。



3. クロスSWOT分析

クロスSWOTを作成すると、戦略・施策のバリエーションを考えることができる

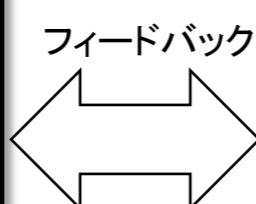
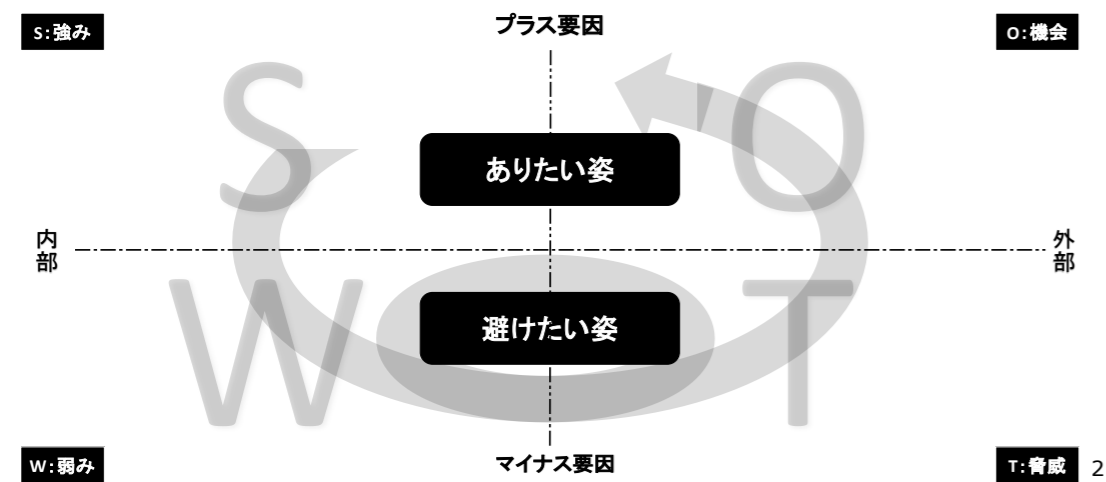
- 「強み」×「機会」⇒「積極攻勢」戦略
 - 「強み」×「脅威」⇒「差別化」戦略
 - 「弱み」×「機会」⇒「弱点強化」戦略
 - 「弱み」×「脅威」⇒「防衛・撤退」戦略
- 考えられる機能(戦略・施策)をリストアップ

		外部状況	
		機会	脅威
内部資源	強み	「積極攻勢」 強みを活かして機会を最大限に利用するためには、どのような機能がふさわしいか。	「差別化」 強みを活かして脅威を回避するためには、どのような機能がふさわしいか。
	弱み	「弱点強化」 弱みによって機会を逃さないために、補完、改善を行うには、どのような機能がふさわしいか。	「防衛・撤退」 想定される最悪の事態を回避するには、何をすべきか。

市民アンケートの実施

2. SWOT分析とGAP分析を重ねる

SWOT分析で得られた「強み」と「機会」のプラス要因と、「弱み」と「脅威」のマイナス要因のギャップから、「ありたい姿」と「避けたい姿」を導き出す。考察手法としては、始めに「強み」を確認したうえで、反時計回りに「弱み」と「脅威」のマイナス要因から「避けたい姿」を描くと対極にある「ありたい姿」が求めやすい。



4. 機能評価

基本コンセプト					
機能(戦略・施策)	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○
概要					
市民アンケート					
ニーズ ・県外人(学生、転勤者)					
中心市街地活性化への寄与 ・にぎわい ・観光客数増 ・歩行者通行量増 ・回遊性向上					
経済性(効果) ・経済波及効果					
新規性 ・市内既存施設との棲み分け (重複の有無)					
まちづくりの継続性					
総合評価					

イメージ